



今、ここ

めがす子どもの姿
「合言葉」

～ やさしく かしこく たくましく ～
わたしが主人公 一人ひとりが主人公

令和3年9月3日 第6号
銭座小学校 校長 丸山朋子

○9月1日(水)2学期スタート

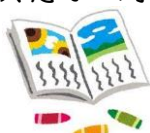
令和3年度の2学期が始まりました。夏休み期間中、大きなけがや事件・事故の報告もなく、子どもたち全員がそろって2学期を迎えることができました。



9月1日の朝、1人、2人、10人、20人…と子どもたちが校舎に入るたびに、学校が活気を取り戻し、エネルギーに満ちていくのを感じました。

今年の夏休み、子どもたちの様子はいかがだったでしょうか。コロナ感染の拡大や、記録的な豪雨などにより、計画や行動の制限を余儀なくされることも多くありました。ご家庭でも「夏を満喫」とはなりにくかったのではないのでしょうか。

また、学校も、感染症レベル引き上げの状況から、8月20日の登校日を中止とさせていただきます。夏休みに取り組んだ学習の提出を含め、急なご対応をお願いしましたが、ご協力いただきありがとうございました。



今学期も、ご家庭のご協力をいただくことが、多々あるかと思えます。子どもたちの健康と安全を守る対応のもと、一人ひとりが豊かに成長していけるよう取り組んでまいりますので、ご家庭の皆様、地域の皆様のご協力を、引き続き、よろしく願いいたします。

○クロムブックを使って…

登校後、子どもたちはクロムブックのスイッチを入れます。学びの道具の一つとして身近になるよう、様々な可能性に注目しながら取組中です。

1年生は、夏休みの振り返りにクロムブックを使いました。互いに教え合う姿が見られました。

高学年は、2日から体位測定を実施。測定後、クロムブックを使って保健指導を受けました。今回は、各自がクロムブックを開き、保健室から「クロムブックを使う時の姿勢」について養護教諭の坂本先生のお話を聞きました。

「1対複数人」で行うのは初めてのこと。「うまくいかない!」「困った!」など、試行錯誤しながらでしたが、みんな熱心に取り組んでいました。リモート学習につながる経験にもなればと思います。

【夏休みの振り返り:1年生】



○平和学習を通して

銭座小学校では、今年6月に、故永井隆博士のお孫さんで、永井隆記念館館長 永井徳三郎さんにお越しいただき、5年生・6年生にお話をさせていただきました。

お話の中で、徳三郎さんは「平和って何でしょうか。戦争さえないければ『平和』なのではないでしょうか。」と問いかけられました。

この問いは子どもたちの心にしっかり届き、6年生はこのお話から学んだこと、考えたことを文章に表しました。そして、福井愛美さんが8月3日に行われた「第40回原爆殉難教え子と教師の慰霊式」で長崎市の児童生徒代表として慰霊の言葉を述べました。一語一語を大切に、自身の思いをしっかりと伝えてくれました。

8月9日。平和祈念集会では、5年生が、徳三郎さんのお話から学んだことを紙芝居にして、発表しました。テーマは「如己愛人」。1年生にも伝わるようにと考えて作ったこの紙芝居。5年生の「平和への願い」が、銭座小の仲間たち一人ひとりに届いたことでしょう。また、徳三郎さんは次のことも話されました。

「『心優しく、命を大切に、支え合い助け合う。』このような気持ちで、毎日を過ごしていれば、それは、立派な平和活動です。」

子どもたちは、今年も、平和への願いを込めて、おりづるを折りました。折り慣れない子どもたちも頑張って完成させていました。「ここ、教えて。」「いいよ。」と、助け合う姿も見られました。



集会で各学年が発表した「平和への誓い」も、学習したことをもとに、各学年で考え、言葉にしたものです。

ねばり強く頑張ること、知恵を出し合い助け合うこと、自分も相手も大切にすること。集会はもちろん、そこに至る子どもたちの行動、日常生活の中に平和な世の中をつくる行動があることを学びました。



【保健指導:5年生】